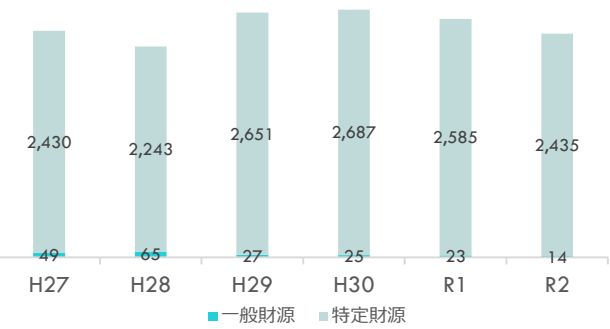
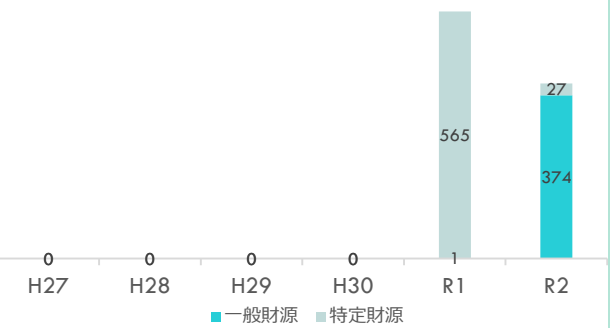


建設課

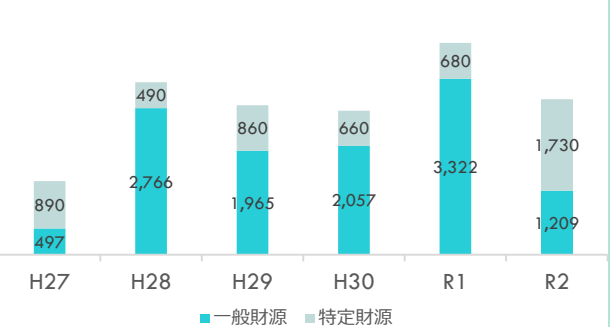
経常的経費の財源(万円)



臨時的経費の財源(万円)



普通建設事業費の財源(万円)



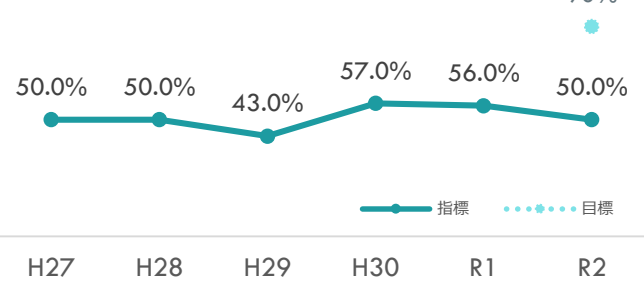
現状と課題

市内には、県管理港湾の東備港（片上、日生、中日生）と市管理港湾（久々井、寒河、鴻島）があります。県管理港湾のうち、片上港明石公共ふ頭について、近年の船舶大型化に対応しきれなくなっていることから移転が必要です。また片上、日生両地区においては、航行の安全や台風時の高潮対策等の整備を進めていく必要があります。

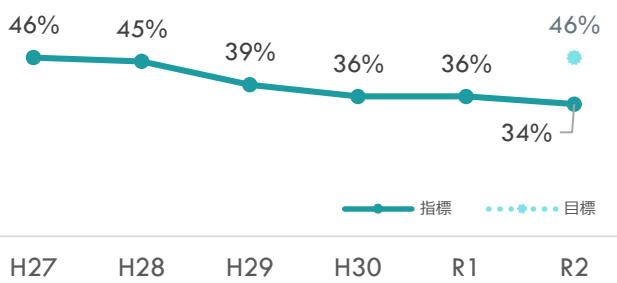
市管理港湾については、引き続き施設の維持補修を行い、機能を維持していくことが必要です。

成果指標

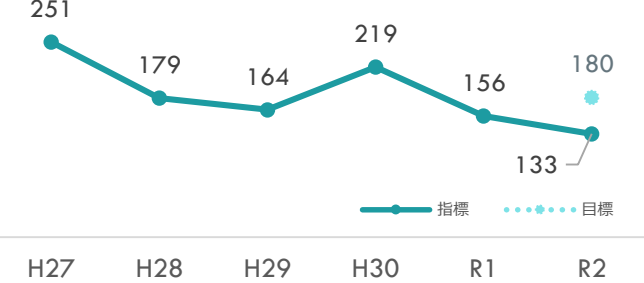
市の要望に対する県事業の実施率（％）



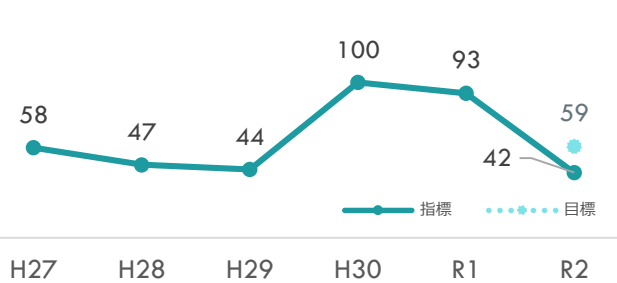
小型船舶係留施設利用割合（％）



入港船数（岡山県港湾統計年報）（隻）



東備港貨物出入量（岡山県港湾統計年報）（万 t）



指標の説明・・・

県事業の実施率は、東備港の整備状況についての数値化です。県事業として実施している港湾整備は、国・県の予算配分に依存するため、要望どおりの整備にならない場合がありますが、要望を続けていきます。

小型船舶係留施設の利用割合は、港の管理運営上の指標として有効です。

東備港貨物出入量は、地域の実業の利用動態を反映している数値として掲載しています。

課題に対する主な取組

課題	課題に対する主な取組	概要	臨経区分	予算執行(万円)	特定財源(万円)	アウトプット (どのくらいの事業や取組を行ったか)	アウトカム (どれだけの成果が得られたか)
東備港の機能強化	片上・日生両地区みおける高潮対策事業について要望	日生地区高潮対策事業を要望	—	0	—	県と協議	計画延長3,680m(日生)・720m(片上) 整備済延長1,391m(日生)・507m(片上)
東備港の機能強化	岡山県管理の明石地区港湾施設の移転を要望	現在より外港寄りの地区へ移設を要望	—	0	—	岡山県への要望活動、中国地区港湾協議会での意見発表	今後也要望を進める
港湾施設の長寿命化	市管理の港湾施設の状況把握	港湾施設の適正管理及び維持管理計画策定	臨時的経費	371万円	—	備前市管理の港湾施設の点検	各施設の管理計画を策定
プレジャーボート等の放置艇対策	小型船舶係留施設利用促進	係留許可条件の緩和(全長7.0m未満を数十センチでも)	—	0	—	条件の緩和を打診	利用割合(全長6.0m未満0.18 7.0m未満0.43)
プレジャーボート等の放置艇対策	放置艇削減に向けた取り組みの策定	放置艇への取り組み策定の協議会立上げに向けての会議に出席	—	0	—	岡山県、沿岸市町村との調整会議に出席	令和3年度に基本方針等の策定に向けて協議中

施策の評価

一次評価者	役職	建設課長	平成16年の台風16号に伴う高潮による被害が過去にあり、今後も高潮対策事業を進めて実施するよう県に要望して行く。また、港湾市施設等については、老朽化進んでいるため、長寿命化に取り組んでいかなければならない。 プレジャーボート等の放置艇対策については、岡山県も昨年度から港湾課が事務局を務める「岡山県プレジャーボート対策推進会議」において、水域、海岸の管理者等関係者が連携して取り組むべき放置艇対策の基本的な方向性を示す基本方針の検討を進めているところであり、今後も連携し対策を実施する必要がある。
	氏名	大森 康晴	
二次評価者	役職	建設部長	港湾・漁港施設は、市民とのかかわりは少ないものの、利用する企業は多く重要な役割を担っています。安全・安心の観点から高潮対策、施設整備等は進めていく必要がありますので、引き続き県、国への要望し調整を行ってください。又、東備港明石公共ふ頭の課題に対しても、粘り強く県、国へ働きかけをおこなってください。
	氏名	淵本 安志	